



心に響くハーモニー
素敵でした。感動!!

校歌制定・披露の式



校長先生のお話
みんな真剣に聞いていました。

入学式



【作曲】
唐沢 史比古 先生



【作詞】
重松 清 先生

「出発にあたつて」
PTA会長 小林 祐一



今年度

の P.T.A
活動がス
タートし
ました。

富士見中学校が開校して二年目。
昨年度の活動を、第一歩を踏み
出して種を蒔き、芽を出したと
例えるならば、今年は、その後
を受け継いで芽を育て、葉や枝

このことが、子供達がたつた
一度の、三年間しかない中学校
生活を充実させていくことにつ
ながるのなら、ひと踏ん張りし
てもいいかなあ、と思うのです。
会員の皆様のご理解とお力添え
をお願い致します。

「花の絨毯目指して」

学校長 三村 昌弘

朝陽に照らされた、濃い桃色
のシバザクラの花と白い石段の
コンラストが、目に鮮やかに
飛び込んできました。

花言葉の一つ一つの意味を考
えながら、花の絨緞に思いを馳
せるのもまた良いかなと。二
年目、また頑張りたい。

ふじみ晴れ

No.3

平成23年7月20日
生徒数 計 428名
1学年 141名
2学年 134名
3学年 153名
職員 46名
発行 富士見中学校PTA
編集 教養部
印刷 (有)富士見印刷

を繁らせたり新たな種を蒔いた
りする年になるかと思います。
役をいただいたことをきっかけ
に、PTAの果たす役割に思
いをめぐらせてみました。自分
なりに思い当たったのは、私達
は、子供達が仲間と共に“い
いもの・いいこと・いい暮らし
”を、探し、見つけ、築いてい
く、その後押しをしているので
はないか、ということです。子
供達のように教室の中で何かを
するわけではないし、先生方の
ように直に子供に指導するので
もありません。直接的ではない
けれど、家庭や地域から、ゆる
やかな、しかし、確かに子供の
ことを思った活動を重ねていく
⋮。

両花壇とも、「絨緞のよう
⋮」という表現になるまでは、
もう少し時間がかかると思いま
すが、これから、本校の環境の
一端を担ってくれることを期待
しています。

それぞれの花言葉を調べてみ
ました。スズランの「純粹」は
皆さんも良く知っているかと思
いますが、シラカバは、「柔和」
「光の豊富」、シバザクラは、「二
筋」「忍耐」とありました。ラ
ベンダーは、「期待」「優美」、
マツバギクは、「心広い愛情」「忍
耐」。

昨年度のPTA親子作業にお
いて、学校に上がる南側の階段
の花壇部分に、シバザクラ、マ
ツバギク、ラベンダー(PTA
会員の方にも持ち寄っていただ
いた株もありました。)等の植
栽をしました。今年、無事一冬
越し、花が咲き始めました。

また、この五月には、グランド
と校舎の間のシラカバの木が植
栽されている花壇に、本校の象
徴でもあるスズラン(日本スズ
ラン千本、ドイツスズラン二千
本)を生徒の皆さん手で、植
えることもできました。

